

| | |
|------|-----------------|
| タイトル | 表紙 |
| 著者 | |
| 引用 | 北海学園大学学園論集(195) |
| 発行日 | 2024-11-25 |

学園論集

2024(令和6)年11月
第195号

論文

ガウス型定常確率過程における過去・現在・未来……………山本 隆範 1

ロミオとジュリエットはなぜ寄宿学校に通うのか？
—マンガ『寄宿学校のジュリエット』を織りなす引用の糸—……………北原 寛子 19

研究ノート

回転寿司チェーンの対外展開は水産物の輸出拡大を後押しするか
—日本・北海道企業による国際ビジネスの動向(2023年)—……………越後 修 39

学園論集 第193号

| | |
|-----------------------------------|--------------|
| 献 辞 | 元木 邦俊 |
| 光と共に歩んだ49年を振り返って | 魚住 純 |
| 献 辞 | 館田 晶子 |
| 退職にあたって | 佐藤 克廣 |
| ご退職記念号に寄せて | 小松かおり |
| 回憶 — 教養部時代を中心に | 大谷 通順 |
| 大雪山研究を振り返って | |
| — 地すべり・崩壊地形と氷河地形 — | 高橋 伸幸 |
| ディルタイ『シュライヤーマッヒヤの生涯』(1870)における | |
| „Bildungsroman“ およびその類義語の用法について | 北原 寛子 |
| ウズベキスタンの拡大家族主義: | |
| 高出生率を支える収入とケア確保の実態とイデオロギー | 菊田 悠 |
| 多声性の国際政治 | |
| — 北極秩序形成をめぐる模索と行動 — | 伊山 智基, 高橋美野梨 |
| 幼児における自己・他者描画活動が自己・他者理解の発達に及ぼす影響: | |
| — 事例実験デザインによる研究 — | 進藤 将敏 |
| “Babylon Revisited”における死者の終わりなき再訪 | 松浦 和宏 |
| ヨハン・ベツルのフリーメイソンリー観 | |
| — 『影と光』をてがかりに — | 北原 博 |

学園論集 第194号

| | |
|-------------------------------------|-------|
| スロバキアにおけるホロコーストとその歴史認識 | 木村 和範 |
| 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) のリスク認知と予防行動 | |
| | 増地あゆみ |
| マルドロールはペデラストか? | |
| — 『マルドロールの歌』における内面化された同性愛嫌悪について | |
| | 一條 由紀 |
| 新しい自然観の台頭 | 小林 淑憲 |
| ウィーンの墓の物語 | |
| — 都市と墓地の文化史 — | 北原 寛子 |

— 執筆者一覧 —

論文

山本 隆 範 工学部 教授 統計学・数学
北原 寛 子 経済学部 教授 ドイツ文学

研究ノート

越後 修 経済学部 教授 経済学

学 園 論 集 第 195 号

2024 年 11 月 25 日 発行

編集・発行 北海学園大学学術研究会
発行代表者 森 下 宏 美(北海学園大学長)
研究紀要委 山田誠二(経済学部教授), マツネ・マーク(経営学部教授)
員 千葉華月(法学部教授), テレングト アイトル(人文学部教授)
平田恵啓(工学部准教授)
学術研究会 062-8605 札幌市豊平区旭町 4 丁目 1-40
事務局 北海学園大学教務センター内
☎(011) 841-1161

GAKUEN RONSHU

No. 195 November 2024

Articles

- Past·present·future on the Gaussian stationary stochastic processes
..... Takanori YAMAMOTO 1
- Warum besuchen Romeo und Julia ein Internat?
— Eine Genealogie von der hohen Dichtung und der Popkultur bei Comic
» Julia im Internat. « —
..... Hiroko KITAHARA 19

Note

- Survey of International Business by Japan and Hokkaido Companies in 2023.
..... Osamu ECHIGO 39